

資料編

三春町障がい福祉サービスに関するアンケート調査結果

《障がい者編》

この調査は、第6期三春町障がい福祉計画の策定にあたり、障がい福祉サービスの需要量及び供給量の推計の参考とするため実施しました。

実施時期	令和2年8月～9月
調査集計	令和2年11月
対象者	18歳以上の障害者手帳を保有している者のうち、無作為抽出した430名を対象としています。
調査方法	個人への郵送によりアンケート形式
回収結果	<配布件数> 430件 <回収件数> 233件(54.2%) 内 有効回答数 231件(53.7%) 無効回答数 2件
調査結果	以下の通り

※表記注意点

- ・ゼロは「-」で表記しています。
- ・一部の表で簡略化のため「無回答」を表記から除外していますので内訳の合計と「総数」が合わない場合があります。

回答者

全体的に「本人」の回答が6割を占め、「家族」からの回答は2割程度となっています。年代別でみると、「40代」から「60代」においては「本人」の回答が7割を超えていますが、「30代以下」は「本人」と「家族」の割合がほぼ半々となっています。

	総数	本人	家族	家族以外の 介助者	無回答	
全体	231	63.2	26.0	4.3	6.5	
性別	男性	113	67.3	23.0	5.3	4.4
	女性	110	63.6	29.1	3.6	3.6
	無回答	8	-	25.0	-	75.0
年代	30代以下	38	52.6	47.4	-	-
	40代	22	72.7	27.3	-	-
	50代	34	73.5	17.6	-	8.8
	60代	42	73.8	19.0	4.8	2.4
	70代以上	57	61.4	21.1	12.3	5.3
	無回答	38	50.0	26.3	2.6	21.1

1. 世帯属性

(1) 性別

「男性」が48.9%、「女性」が47.6%とほぼ同数で、「無回答」が3.5%ありました。
年代別でみると、「50代」以下は「女性」、「60代」以上は「男性」の割合が高くなっています。

	総数	男性	女性	無回答	
全 体	231	48.9	47.6	3.5	
年 代	30代以下	38	44.7	55.3	-
	40代	22	40.9	59.1	-
	50代	34	44.1	55.9	-
	60代	42	61.9	35.7	2.4
	70代以上	57	54.4	45.6	-

(2) 年齢

「70代」以上が24.7%で最も多くなっています。性別でみると、「男性」は「60代」以上が50.4%と半数を占め、「女性」は「70代以上」と「30代以下」が比較的多くなっています。

また、「無回答」が16.5%とかなり多くありました。これは、調査票の選択肢が「20代」から「60代」までとなっていたため、該当しない方が無回答のまま提出されたのではないかと推察されます。なお、手書きで回答されたものは該当する年代に含め集計しております。

	総数	30代以下	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
全 体	231	16.5	9.5	14.7	18.2	24.7	16.5	
性 別	男性	113	15.0	8.0	13.3	23.0	27.4	13.3
	女性	110	19.1	11.8	17.3	13.6	23.6	14.5

(3) 居宅の種類

「一般住宅」が8割を超え、最も多くなっています。性別・年代別でも同様の傾向ですが、70代以上になると「その他」が22.8%と増え、高齢者施設が挙げられています。

	総数	一般住宅	アパート	グループホーム	障がい者福祉施設	病院	その他	無回答	
全 体	231	81.4	3.5	2.6	1.3	0.9	7.4	3.0	
性 別	男性	113	83.2	3.5	0.9	1.8	1.8	8.0	0.9
	女性	110	82.7	3.6	4.5	0.9	-	7.3	0.9
年 代	30代以下	38	89.5	-	2.6	5.3	-	2.6	-
	40代	22	81.8	4.5	4.5	-	-	4.5	4.5
	50代	34	82.4	11.8	2.9	-	2.9	-	-
	60代	42	90.5	4.8	-	2.4	-	2.4	-
	70代以上	57	70.2	-	5.3	-	-	22.8	1.8

*「その他」：敬老園、養護老人ホーム、特別養護老人ホームなど

(4) 家族人数

全体では「2人」が30.1%で最も多く、次いで「3人」(20.4%)、「5人以上」(18.9%)と続いています。

年代別でみると、「2人」が多いのは「50代」以上で、「4人」以上が多い「40代」以下との違いが出ています。

【総数】居宅の種類「一般住宅」「アパート」と回答した人

		総数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		196	9.2	30.1	20.4	15.3	18.9	6.1
性別	男性	98	8.2	33.7	18.4	16.3	18.4	5.1
	女性	95	10.5	27.4	20.0	14.7	20.0	7.4
年代	30代以下	34	-	17.6	23.5	32.4	23.5	2.9
	40代	19	5.3	10.5	21.1	26.3	31.6	5.3
	50代	32	12.5	31.3	25.0	12.5	15.6	3.1
	60代	40	12.5	35.0	20.0	10.0	15.0	7.5
	70代以上	40	12.5	37.5	15.0	7.5	22.5	5.0

(5) 同居者

「配偶者」が46.4%で最も多く、以下、「子」が30.1%、「母親」が27.6%、「父親」が20.9%、「兄弟・姉妹」が20.9%と続いています。

年代別でみると「配偶者」は「50代」以上で多く、「40代」は「父親」「母親」「兄弟・姉妹」が同率で、「30代以下」では「母親」が82.4%と極めて高い割合となっています。

【総数】居宅の種類「一般住宅」「アパート」と回答した人

		総数	配偶者 (夫・妻)	父親	母親	兄弟・姉妹	祖父母	子 (息子・娘)	子の 配偶者	その他	無回答
全体		196	46.4	20.9	27.6	20.9	6.1	30.1	5.1	8.7	12.8
性別	男性	98	50.0	20.4	26.5	21.4	7.1	26.5	5.1	10.2	11.2
	女性	95	43.2	20.0	27.4	21.1	5.3	33.7	5.3	7.4	14.7
年代	30代以下	34	8.8	67.6	82.4	52.9	26.5	2.9	-	-	2.9
	40代	19	26.3	57.9	57.9	57.9	10.5	21.1	-	10.5	10.5
	50代	32	43.8	12.5	25.0	18.8	-	31.3	-	21.9	12.5
	60代	40	62.5	5.0	15.0	10.0	2.5	32.5	5.0	5.0	17.5
	70代以上	40	62.5	-	-	2.5	-	40.0	15.0	10.0	17.5

*「その他」：孫、兄弟の家族、他人の同居者など

(6) 居住地区

「岩江」が24.0%で最も多く、次いで「八島台」の11.2%となっています。

【総数】居宅の種類「一般住宅」「アパート」と回答した人

		総数	大町	中町	八幡町	荒町	北町	新町	八島台	沢石
全体		196	1.5	3.6	7.7	4.6	1.5	9.2	11.2	5.6

要田	御木沢	岩江	中妻	中郷	無回答
3.6	8.2	24.0	9.2	6.1	4.1

2. 障がいの状況について

(1) 身体障害者手帳の保有状況

保有の有無を尋ねていますが、「無回答」が32.5%と多い結果となっています。

保有者をみると、「1級」が23.8%で最も多く、以下、「4級」(14.3%)、「2級」(9.1%)、「3級」(5.6%)の順となっています。

年代別でみると、「40代」では唯一「1級」より「2級」の方が多くなっています。一方、「持っていない」と回答したのは全体の8.7%で、「30代以下」の割合が高くなっています。

		総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	持っていない	無回答
全体		231	23.8	9.1	5.6	14.3	3.0	3.0	8.7	32.5
性別	男性	113	26.5	12.4	7.1	14.2	1.8	2.7	9.7	25.7
	女性	110	21.8	5.5	4.5	14.5	4.5	3.6	8.2	37.3
年代	30代以下	38	13.2	-	-	-	2.6	-	18.4	65.8
	40代	22	9.1	13.6	-	-	-	4.5	9.1	63.6
	50代	34	29.4	11.8	5.9	14.7	5.9	5.9	5.9	20.6
	60代	42	35.7	9.5	9.5	16.7	4.8	-	7.1	16.7
	70代以上	57	26.3	8.8	5.3	22.8	1.8	7.0	8.8	19.3

(2) 身体障がいの内容（障がい別）

「内部障がい（心臓・じん臓・小腸・肝臓・呼吸器）」が34.6%で最も多く、以下、「肢体不自由（下肢機能障がい）」が33.8%、「肢体不自由（上肢機能障がい）」が19.1%、「視覚障がい」が7.4%、「聴覚障がい」が7.4%などと続いています。

「内部障害」は「男性」に多く、「女性」では「肢体不自由（下肢機能障がい）」が多くなっており、年代による差もややみられます。

【総数】身体障害者手帳1～6級と回答した人

		総数	視覚障がい	聴覚障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由（上肢機能障がい）	肢体不自由（下肢機能障がい）	体幹機能障がい	内部障がい（心臓・じん臓・小腸・肝臓・呼吸器）	無回答
全体		136	7.4	7.4	2.9	19.1	33.8	1.5	34.6	11.8
性別	男性	73	5.5	5.5	1.4	20.5	30.1	2.7	42.5	9.6
	女性	60	10.0	10.0	5.0	18.3	40.0	-	26.7	10.0
年代	30代以下	6	-	-	-	83.3	66.7	-	-	16.7
	40代	6	16.7	33.3	-	-	-	-	33.3	16.7
	50代	25	4.0	8.0	8.0	28.0	48.0	-	24.0	8.0
	60代	32	9.4	-	-	15.6	31.3	-	53.1	3.1
	70代以上	41	9.8	14.6	2.4	9.8	29.3	2.4	34.1	7.3

(3) 療育手帳の保有状況

保有者では「A判定」が6.9%、「B判定」が10.8%で、「B判定」が多くなっています。一方、「持っていない」が39.0%で、「無回答」は43.3%ありました。年代別でみると、「30代以下」は唯一「B判定」より「A判定」の方が多くなっています。

	総数	A判定	B判定	持っていない	無回答
全体	231	6.9	10.8	39.0	43.3
性別	男性	8.8	8.8	40.7	41.6
	女性	5.5	13.6	38.2	42.7
年代	30代以下	36.8	23.7	13.2	26.3
	40代	4.5	27.3	27.3	40.9
	50代	2.9	14.7	47.1	35.3
	60代	-	2.4	42.9	54.8
	70代以上	-	7.0	52.6	40.4

(4) 精神保健福祉手帳の保有状況

保有者では「1級」が5.6%、「2級」が11.3%、「3級」が6.5%で、「2級」が多くなっています。一方、「持っていない」が30.7%で、「無回答」はここでも45.9%と高い割合となっています。年代別でみると、「70代以上」で唯一「1級」が多くなっています。

	総数	1級	2級	3級	持っていない	無回答
全体	231	5.6	11.3	6.5	30.7	45.9
性別	男性	3.5	11.5	6.2	32.7	46.0
	女性	7.3	10.9	7.3	30.0	44.5
年代	30代以下	7.9	23.7	5.3	13.2	50.0
	40代	-	22.7	13.6	22.7	40.9
	50代	-	8.8	8.8	38.2	44.1
	60代	4.8	9.5	14.3	28.6	42.9
	70代以上	57	7.0	5.3	1.8	43.9

(5) 難病認定の状況

「認定を受けている」人は、全体では8.7%で、「男性」と「50代」から「60代」で多くみられます。

	総数	認定を受けている	受けていない	無回答
全体	231	8.7	79.2	12.1
性別	男性	10.6	80.5	8.8
	女性	7.3	77.3	15.5
年代	30代以下	2.6	86.8	10.5
	40代	9.1	81.8	9.1
	50代	17.6	76.5	5.9
	60代	16.7	73.8	9.5
	70代以上	57	3.5	80.7

(6) 発達障がいとして診断されたことの有無

「診断されたことがある」人は、全体では11.7%となっていますが、「30代以下」では約半数を占めています。

		総数	診断されたことがある	ない	無回答
全 体		231	11.7	74.5	13.9
性 別	男性	113	11.5	77.0	11.5
	女性	110	12.7	70.9	16.4
年 代	30代以下	38	47.4	42.1	10.5
	40代	22	27.3	63.6	9.1
	50代	34	5.9	88.2	5.9
	60代	42	-	85.7	14.3
	70代以上	57	1.8	82.5	15.8

(7) 現在、受けている医療的ケア

全体では、約3割の人が何らかの医療的ケアを受けていると回答しています。最も多いのは「服薬管理」(15.6%)で約半数を占め、主に「40代」以下で多い傾向がみられます。

特徴的なのは「50代」で、「透析」が14.7%と、唯一「服薬管理」より多くなっています。

		総数	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう又は 腸ろうによる 経管栄養	鼻腔経管 栄養	透析	中心静脈 栄養 (IVH)
全 体		231	0.4	0.4	1.3	0.9	1.3	0.4	4.8	-
性 別	男性	113	0.9	0.9	2.7	1.8	1.8	0.9	7.1	-
	女性	110	-	-	-	-	0.9	-	1.8	-
年 代	30代以下	38	-	-	-	-	-	2.6	-	-
	40代	22	-	-	-	-	-	-	-	-
	50代	34	-	-	-	-	2.9	-	14.7	-
	60代	42	-	2.4	7.1	2.4	-	-	9.5	-
	70代以上	57	-	-	-	-	1.8	-	1.8	-

		総数	カテーテル 留置	服薬管理	ストマ (人 工肛門・人 工膀胱)	その他	無回答
全 体		231	-	15.6	4.3	7.8	65.4
性 別	男性	113	-	14.2	7.1	6.2	60.2
	女性	110	-	16.4	1.8	10.0	70.9
年 代	30代以下	38	-	21.1	-	5.3	73.7
	40代	22	-	22.7	-	9.1	72.7
	50代	34	-	8.8	2.9	8.8	64.7
	60代	42	-	14.3	4.8	9.5	52.4
	70代以上	57	-	19.3	3.5	5.3	70.2

*「その他」：ペースメーカー、頸動脈ステント留置、人工内耳、うつ病、もやもや病

(8) 身体障害者手帳と各種手帳等との相関関係

「療育手帳保有者」は「持っていない」と「無回答」が87.8%と多く、何らかの等級を得ているのは12.2%です。「精神保健福祉手帳保有者」も「持っていない」と「無回答」が81.5%と多く、同様の状況です。

「療育手帳」「精神保健福祉手帳」共に、「非保有者」では、身体障害者手帳「1級」「2級」「4級」の人が比較的多くなっています。

「難病認定を受けている」人は20人と少数ですが、身体障害者手帳の「1級」が50.0%で半数を占めています。

「発達障がいと診断されたことがある」人は27人で、身体障害者手帳を保有している人は3.7%と少数でした。

		総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	持っていない	無回答
全 体		231	23.8	9.1	5.6	14.3	3.0	3.0	8.7	32.5
療育手帳	保有	41	9.8	-	-	2.4	-	-	17.1	70.7
	非保有	90	23.3	15.6	6.7	18.9	5.6	5.6	14.4	10.0
精神保健福祉手帳	保有	54	9.3	1.9	1.9	3.7	-	1.9	20.4	61.1
	非保有	71	22.5	19.7	7.0	23.9	7.0	5.6	11.3	2.8
難病認定	受けている	20	50.0	15.0	10.0	-	10.0	-	-	15.0
	受けていない	183	20.2	8.7	4.9	16.4	2.7	3.8	9.8	33.3
発達障がい	ある	27	-	-	-	-	-	3.7	14.8	81.5
	ない	172	25.6	11.0	6.4	16.9	4.1	3.5	8.1	24.4

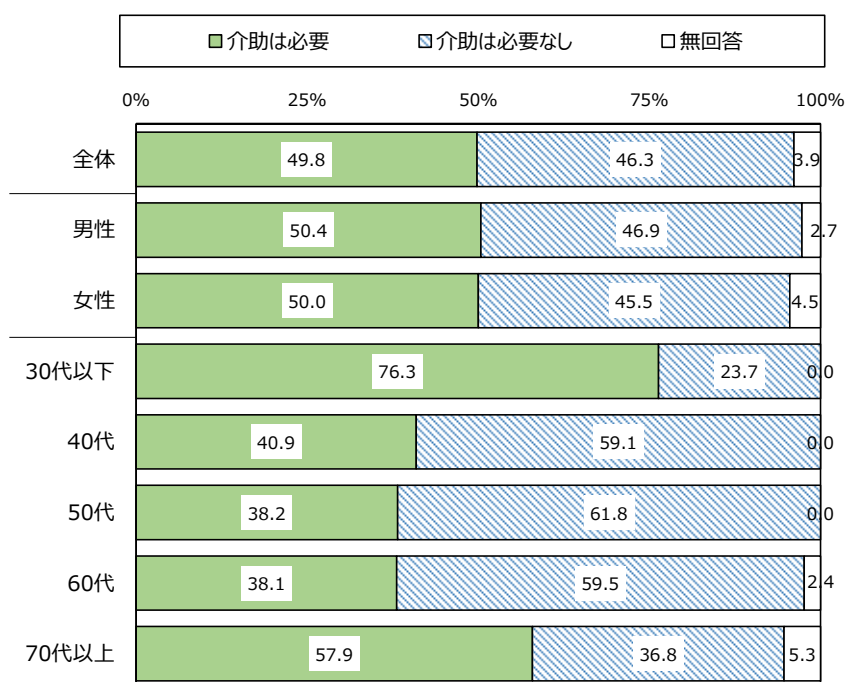
3. 生活状況について

(1) 普段の生活について介助の必要性

「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答した人を『介助は必要』に集計しております。

『介助は必要』は49.8%で、男女差はありませんでした。年代別でみると、「30代以下」が76.3%で著しく多く、次いで「70代以上」が57.9%、「40代」が40.9%の順となっています。

【総数=231】

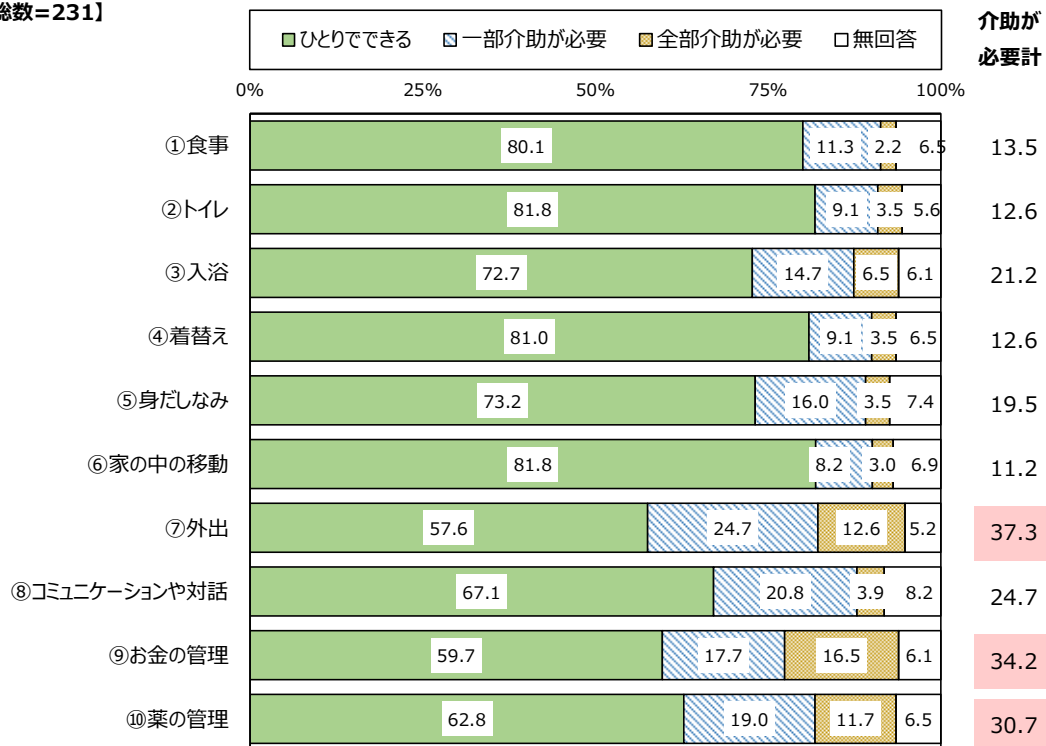


(2) 介助が必要なもの

『介助が必要』なものは「⑦外出」が37.3%と最も多く、以下「⑨お金の管理」(34.2%)、「⑩薬の管理」(30.7%)と続いています。

一方、「ひとりでできる」ものは、「②トイレ」と「⑥家の中の移動」が共に81.8%で最も多くなっています。

【総数=231】



(3) 各種手帳等に対する介助内容

『介助が必要』なものを性別・年代・手帳別にみると、「⑦外出」が多いのは男女共に「50代以上」で、特に「女性」の割合が高くなっています。「40代以下」で最も多いのは、「男性」は「⑧コミュニケーション」「⑨お金の管理」「⑩薬の管理」が同率で、「女性」は「⑨お金の管理」となっています。

保有手帳別では、「身体障害者手帳保有者」は「⑦外出」、「療育手帳保有者」と「精神保健福祉手帳保有者」は共に「⑨お金の管理」が最も多くなっています。

【総数】「一部介助が必要」「全部介助が必要」と回答した人

		総数	①食事	②トイレ	③入浴	④着替え	⑤身だしなみ	⑥家の中の移動	⑦外出
全 体		115	27.0	25.2	42.6	25.2	39.1	22.6	74.8
性別	男性	57	35.1	24.6	47.4	28.1	42.1	26.3	71.9
	女性	55	20.0	27.3	38.2	21.8	36.4	18.2	78.2
男性	40代以下	18	27.8	33.3	38.9	27.8	50.0	16.7	66.7
	50代以上	32	34.4	15.6	50.0	21.9	31.3	25.0	71.9
女性	40代以下	20	25.0	30.0	25.0	20.0	35.0	15.0	55.0
	50代以上	29	20.7	27.6	48.3	24.1	34.5	20.7	89.7
身体障害者手帳保有		60	30.0	23.3	50.0	30.0	38.3	28.3	83.3
非保有		11	27.3	36.4	45.5	18.2	36.4	18.2	90.9
療育手帳保有		32	34.4	37.5	46.9	34.4	62.5	28.1	65.6
非保有		43	27.9	27.9	53.5	25.6	32.6	20.9	83.7
精神保健福祉手帳保有		33	18.2	12.1	21.2	15.2	30.3	12.1	66.7
非保有		35	31.4	31.4	57.1	28.6	31.4	28.6	77.1

		総数	⑧コミュニケーションや対話	⑨お金の管理	⑩薬の管理
全 体		115	49.6	68.7	61.7
性別	男性	57	49.1	64.9	59.6
	女性	55	49.1	72.7	63.6
性別	40代以下	18	83.3	83.3	83.3
	50代以上	32	31.3	62.5	50.0
性別	40代以下	20	50.0	85.0	65.0
	50代以上	29	51.7	65.5	65.5
身体障害者手帳保有		60	36.7	55.0	48.3
非保有		11	72.7	72.7	81.8
療育手帳保有		32	65.6	90.6	78.1
非保有		43	46.5	58.1	53.5
精神保健福祉手帳保有		33	66.7	81.8	75.8
非保有		35	37.1	51.4	48.6

(4) 主な介護者

全体では、「施設の職員」が33.0%で最も多く、以下、「母親」が29.6%、「配偶者」が27.8%、「子」が18.3%、「父親」が14.8%と続いています。「男性」は「施設の職員」、「女性」は「母親」が多くなっています。

年代別でみると、「施設の職員」が最も多いのは「70代以上」で、「40代」以下は「母親」、「50代」は「兄弟・姉妹」、「60代」は「配偶者」と、各年代で違いがあります。

【総数】「一部介助が必要」「全部介助が必要」と回答した人

		総数	配偶者 (夫・妻)	父親	母親	兄弟・姉妹	祖父母	子 (息子・娘)	子の配偶者	ホーム ヘルパー
全 体		115	27.8	14.8	29.6	14.8	4.3	18.3	3.5	7.0
性 別	男性	57	28.1	10.5	28.1	14.0	5.3	15.8	-	3.5
	女性	55	27.3	16.4	30.9	14.5	3.6	21.8	7.3	9.1
年 代	30代以下	29	-	41.4	82.8	13.8	13.8	-	-	3.4
	40代	9	22.2	22.2	55.6	33.3	11.1	22.2	-	-
	50代	13	15.4	7.7	23.1	46.2	-	23.1	7.7	15.4
	60代	16	50.0	6.3	12.5	18.8	-	18.8	-	6.3
	70代以上	33	33.3	-	-	3.0	-	27.3	6.1	6.1

		総数	施設の職員	その他	無回答
全 体		115	33.0	10.4	1.7
性 別	男性	57	40.4	10.5	1.8
	女性	55	25.5	10.9	1.8
年 代	30代以下	29	31.0	6.9	-
	40代	9	33.3	11.1	-
	50代	13	23.1	30.8	7.7
	60代	16	12.5	-	6.3
	70代以上	33	45.5	6.1	-

*「その他」：訪問看護師、孫、兄弟の家族、友人など

(5) 主な介護者の年代

約6割が「65歳未満」となっていますが、「75歳」以上も1割を超えており、特に「男性」を介護する「85歳以上」が10.5%と高い割合となっています。

【総数】「一部介助が必要」「全部介助が必要」と回答した人

		総数	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
全 体		115	57.4	20.0	12.2	7.0	3.5
性 別	男性	57	57.9	15.8	12.3	10.5	3.5
	女性	55	58.2	23.6	12.7	1.8	3.6

4. 日中活動について

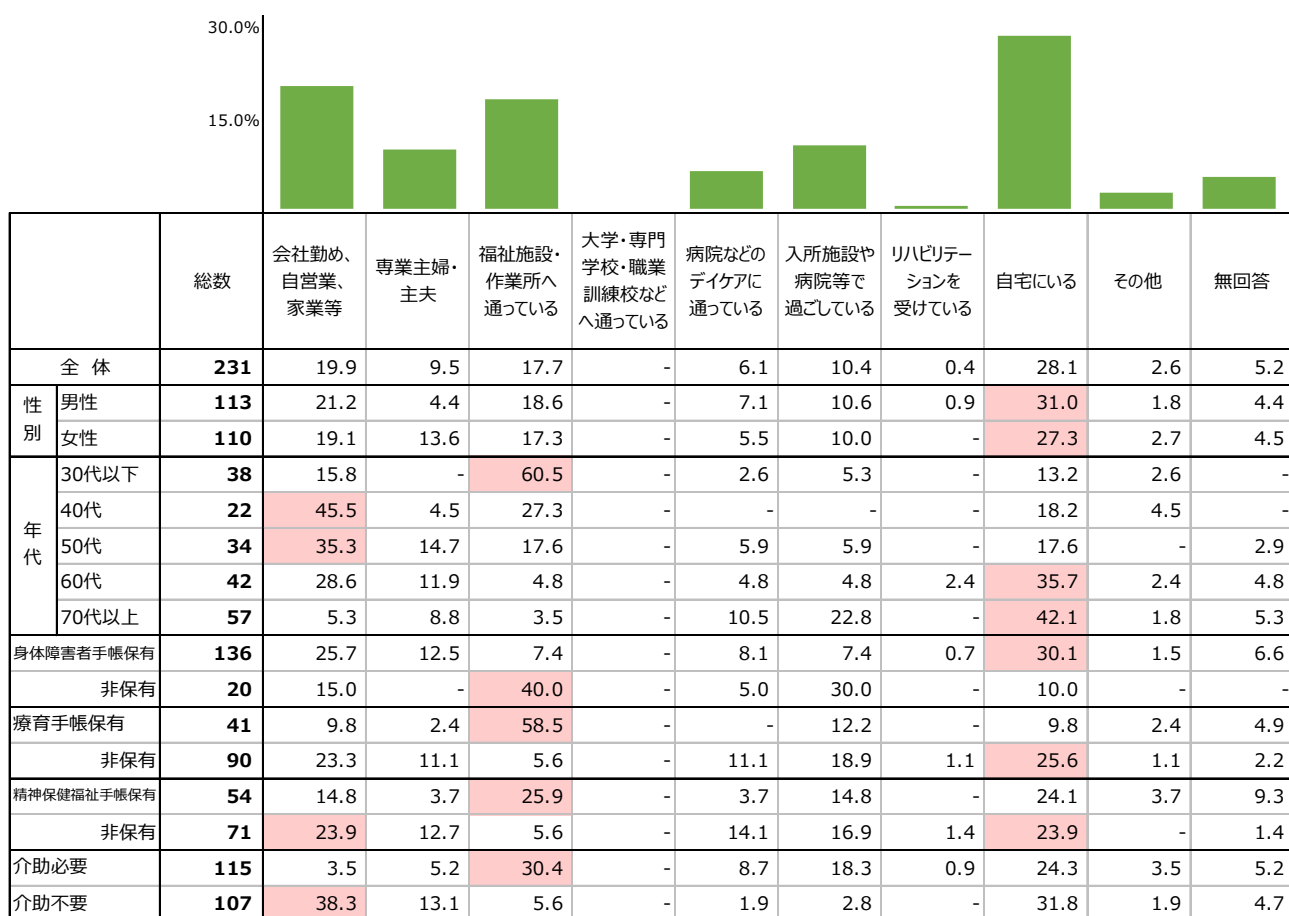
(1) 日常の過ごし方

「自宅にいる」が28.1%で最も多く、以下、「会社勤めや自営業、家業などを行っている」が19.9%、「福祉施設・作業所へ通っている（就労支援A型事業所も含む）」が17.7%、「入所している施設や病院等で過ごしている」が10.4%などと続いています。

男女共に「自宅にいる」が最も多く、「60代」以上に多い傾向です。

また、「身体障害者手帳保有者」は「自宅にいる」、「療育手帳保有者」と「精神保健福祉手帳保有者」は「福祉施設・作業所へ通っている」、「ひとりでできる（介助不要）」人は「会社勤め、自営業、家業等」が最も多くなっており、保有手帳や介護の必要性により過ごし方に違いがみられます。

なお、「大学・専門学校・職業訓練校などへ通っている」と回答した人はいませんでした。



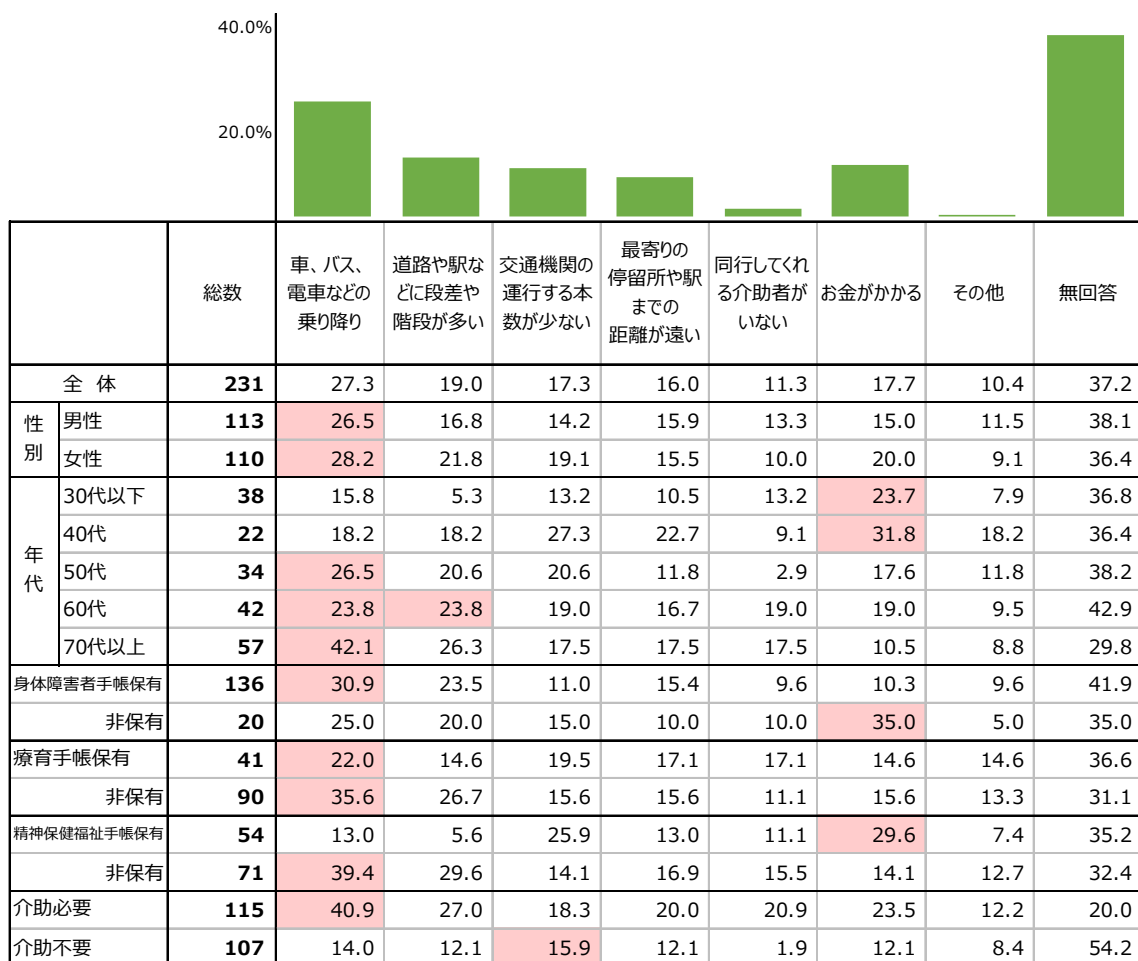
*「自宅にいる」理由：仕事がない、高齢、身体的・精神的困難、家族の介護など

(2) 外出（移動）する際、困ること

「無回答」(37.2%)を除くと約6割の人が何らかの困りごとを挙げています。最も多かったのは「車、バス、電車などの乗り降り」で27.3%、以下、「道路や駅などに段差や階段が多い」(19.0%)、「お金がかかる」(17.7%)、「バスや電車などの交通機関が、運行する本数が少ない」(17.3%)、「自宅からバス停留所や駅までの距離が遠い」(16.0%)と続いています。

年代別でみると「40代」以下は「お金がかかる」が最も多く、「50代」以上との違いが顕著となっています。

また、「身体障害者手帳保有者」と「療育手帳保有者」は「車、バス、電車などの乗り降り」、「精神保健福祉手帳保有者」は「お金がかかる」が最も多く、「ひとりでできる（介助不要）」人は「バスや電車などの交通機関が、運行する本数が少ない」を多く挙げています。



*「その他」：レジや受付でマスク・スクリーンで聞き取りにくい、目が悪いので歩きづらい、車を持っていないなど

5. 福祉サービスの利用について

(1) 障害者手帳は役に立っていますか

「障害者手帳」を保有している213人のうち、手帳が「役に立っている」と回答（役に立っているサービスを選択）したのは86.4%、「役に立っていない」と回答したのは16.9%となっています。

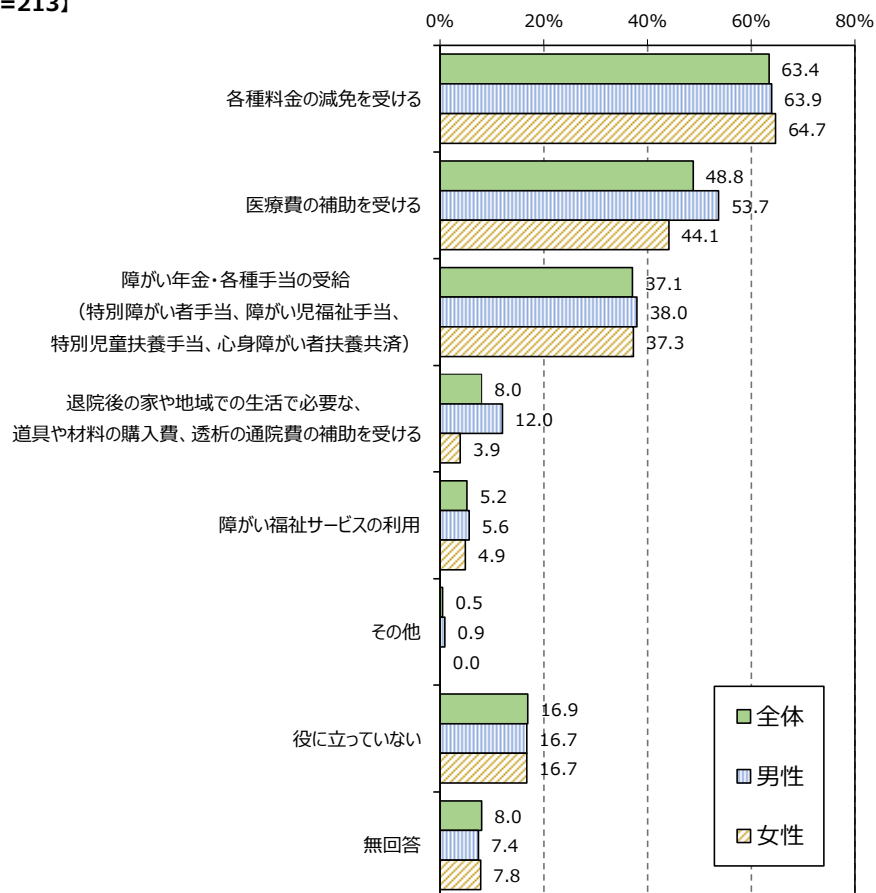
なお、設問は複数回答のため、双方回答した人（11.3%）が含まれています。

	総数	役に立っている	役に立っていない	無回答
障害者手帳保有	213	86.4	16.9	8.0
非保有	3			
無回答	15			

(2) 役に立っているサービス

「各種料金の減免を受ける」が63.4%で最も多く、以下、「医療費の補助を受ける」が48.8%、「障がい年金・各種手当の受給」が37.1%の順となっています。

【総数=213】



(3) 各種手帳等に対する役に立っているサービス

男女共に「各種料金の減免を受ける」が最も多くなっていますが、「40代以下」では男女共に「障がい年金・各種手当の受給」が高い割合を示しています。

保有手帳別でみると、「身体障害者手帳保有者」は「各種料金の減免を受ける」、「療育手帳保有者」は「障がい年金・各種手当の受給」、「精神保健福祉手帳保有者」は「医療費の補助を受ける」が最も多くなっています。また、「介助が必要」な人の2割は「役に立っていない」と回答しています。

また、「各種料金の減免」では「自動車税の減免」が55.6%で最も多くなっています。

【総数】「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神保健福祉手帳」を保有していると回答した人

		総数	医療費の補助	道具や材料の購入費、透析の通院費の補助	障がい年金・各種手当の受給	各種料金の減免	障がい福祉サービスの利用	その他	役に立っていない	無回答
全体		213	48.8	8.0	37.1	63.4	5.2	0.5	16.9	8.0
性別	男性	108	53.7	12.0	38.0	63.9	5.6	0.9	16.7	7.4
	女性	102	44.1	3.9	37.3	64.7	4.9	-	16.7	7.8
男性	40代以下	25	60.0	-	68.0	60.0	16.0	-	20.0	-
	50代以上	69	53.6	14.5	34.8	62.3	2.9	1.4	14.5	8.7
女性	40代以下	33	45.5	3.0	66.7	66.7	6.1	-	15.2	6.1
	50代以上	57	40.4	1.8	26.3	63.2	3.5	-	15.8	8.8
身体障害者手帳保有		136	45.6	12.5	22.1	69.9	1.5	0.7	18.4	9.6
非保有		17	64.7	-	58.8	29.4	23.5	-	-	-
療育手帳保有		41	48.8	-	68.3	56.1	14.6	-	17.1	7.3
非保有		87	51.7	11.5	25.3	62.1	2.3	-	20.7	3.4
精神保健福祉手帳保有		54	57.4	1.9	51.9	42.6	7.4	-	11.1	14.8
非保有		68	47.1	13.2	23.5	67.6	1.5	-	22.1	1.5
介助必要		111	61.3	8.1	47.7	56.8	7.2	0.9	20.7	6.3
介助不要		96	36.5	7.3	26.0	68.8	3.1	-	12.5	10.4

* 性別・年代・各種手帳・介助の必要性の「無回答」は表記から除外



【総数】「各種料金の減免を受ける」と回答した人

		総数	公共交通機関の運賃減免	自動車税の減免	各種施設の入館料割引	有料道路通行料金の減免	携帯電話基本使用料の割引	NHK放送受信料の減免	その他
全体		135	43.7	55.6	42.2	34.1	16.3	30.4	2.2
性別	男性	58	39.7	60.3	44.8	36.2	15.5	43.1	1.7
	女性	57	57.9	45.6	49.1	31.6	22.8	17.5	1.8
男性	40代以下	15	53.3	40.0	66.7	26.7	33.3	20.0	-
	50代以上	43	34.9	67.4	37.2	39.5	9.3	51.2	2.3
女性	40代以下	22	54.5	36.4	63.6	22.7	18.2	13.6	4.5
	50代以上	35	60.0	51.4	40.0	37.1	25.7	20.0	-
身体障害者手帳保有		95	40.0	71.6	35.8	45.3	12.6	34.7	2.1
非保有		5	20.0	-	80.0	-	-	20.0	-
療育手帳保有		23	52.2	34.8	60.9	13.0	17.4	8.7	-
非保有		54	35.2	66.7	29.6	37.0	11.1	33.3	5.6
精神保健福祉手帳保有		23	47.8	8.7	47.8	8.7	26.1	26.1	4.3
非保有		46	37.0	73.9	37.0	37.0	10.9	32.6	4.3
介助必要		63	46.0	50.8	41.3	25.4	12.7	33.3	1.6
介助不要		66	42.4	59.1	43.9	40.9	21.2	27.3	3.0

(4) 役に立っていないと感じる理由

「役に立っていない」と回答した36人に理由を尋ねると、約半数が「どんなサービスがあるのかわからない」(47.2%)と回答しています。

【総数】「役に立っていない」と回答した人

	総数	今あるサービスの中に、必要なものがない	どんなサービスがあるのかわからない	その他	無回答
全体	36	8.3	47.2	19.4	25.0
性別	男性	11.1	50.0	22.2	16.7
	女性	17	5.9	47.1	17.6

*「その他」:

- ・手続きの問題（面倒そう、時間がかかる、書類・窓口が分からない）
- ・タクシー券が欲しい
- ・三春町にないサービスがあり残念

(5) 障がい支援区分の認定を受けていますか

何らかの区分を回答した人は14.4%でした。「女性」の「区分2」が最も多くなっています。

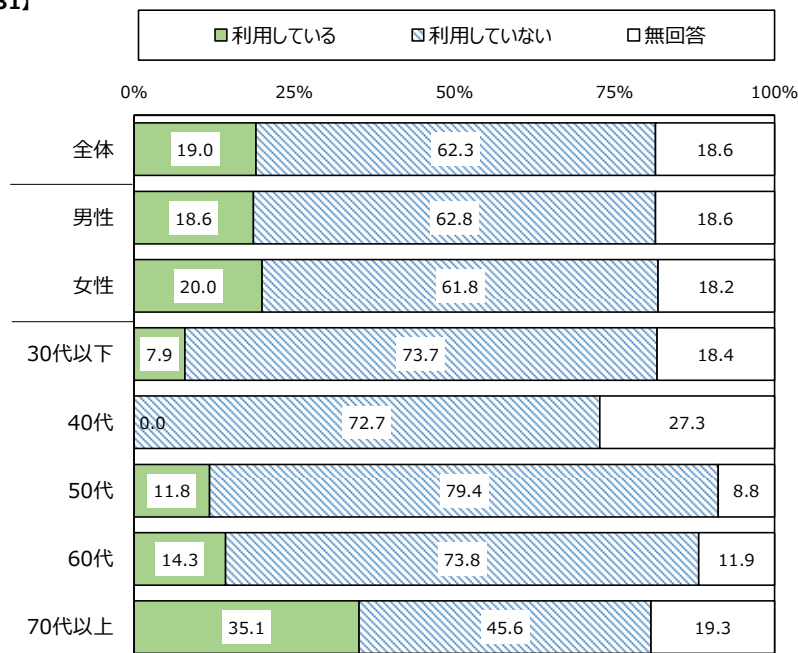
	総数	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	無回答	
全体	231	3.5	4.8	2.6	2.2	1.3	85.7	
性別	男性	113	3.5	3.5	4.4	2.7	1.8	84.1
	女性	110	3.6	6.4	-	1.8	0.9	87.3

(6) 介護保険のサービスを利用していますか

「利用している」が19.0%、「利用していない」が62.3%、「無回答」が18.6%です。

利用者に男女差はあまりみられません、年代別でみると「70代以上」では、「60代」の倍以上の伸びがみられます。

【総数=231】



(7) 該当する要介護度

重度の「要介護4」「要介護5」の人は全体の6.8%で、「女性」で多くなっています。

【総数】介護保険のサービスを「利用している」と回答した人

		総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全 体		44	15.9	9.1	25.0	15.9	6.8	4.5	2.3	20.5
性 別	男性	21	14.3	9.5	23.8	4.8	9.5	4.8	-	33.3
	女性	22	18.2	9.1	27.3	22.7	4.5	4.5	4.5	9.1

(8) 障がい福祉サービスの利用状況

①各サービスの利用状況

現在「利用している」サービスでは「⑭相談支援」が9.1%で最も多く、次いで「⑫就労継続支援」が8.7%、「⑩自立訓練」が7.8%で、以上が上位3位となっています。

ただし、全ての項目で「無回答」が7割を超えており、実態を反映しているかは不明です。

【総数】231

	利用している	利用していない	無回答	利用している人(人)
①居宅介護	6.1	17.7	76.2	14
②重度訪問介護	1.3	21.6	77.1	3
③同行援護	-	22.1	77.9	-
④行動援護	0.9	19.9	79.2	2
⑤短期入所	3.5	22.1	74.5	8
⑥重度障がい者等包括支援	0.4	21.6	77.9	1
⑦療養介護	0.4	22.1	77.5	1
⑧生活介護	3.0	19.9	77.1	7
⑨施設入所支援	1.3	21.6	77.1	3
⑩自立訓練	7.8	18.6	73.6	18
⑪就労移行支援	0.4	21.2	78.4	1
⑫就労継続支援	8.7	16.5	74.9	20
⑬共同生活援助	2.6	20.8	76.6	6
⑭相談支援	9.1	16.9	74.0	21

■「利用している人」上位3位のサービスについて

「⑭相談支援」と「⑫就労継続支援」は「男性」、「⑩自立訓練」は「女性」で高い割合となっています。また、いずれのサービスも「30代以下」での利用が高くなっています。

		⑭相談支援	⑫就労継続支援	⑩自立訓練
全 体		9.1	8.7	7.8
性 別	男性	11.5	12.4	3.5
	女性	6.4	5.5	12.7
年 代	30代以下	13.2	26.3	10.5
	40代	9.1	22.7	4.5
	50代	8.8	11.8	11.8
	60代	7.1	2.4	2.4
	70代以上	10.5	-	7.0

②「利用している人」の満足度

「満足している」が大半を占めています。全員が「満足している」と回答したのは6サービスありました。

一方、「満足していない」と回答があったのは5サービスとなっています。

【総数】「利用している」と回答した人

	総数	満足している	満足していない	無回答
①居宅介護	14	100.0	-	-
②重度訪問介護	3	100.0	-	-
③同行援護	-	-	-	-
④行動援護	2	100.0	-	-
⑤短期入所	8	87.5	12.5	-
⑥重度障がい者等包括支援	1	-	100.0	-
⑦療養介護	1	100.0	-	-
⑧生活介護	7	100.0	-	-
⑨施設入所支援	3	66.7	-	33.3
⑩自立訓練	18	72.2	5.6	22.2
⑪就労移行支援	1	100.0	-	-
⑫就労継続支援	20	80.0	20.0	-
⑬共同生活援助	6	83.3	-	16.7
⑭相談支援	21	81.0	14.3	4.8

③「利用していない人」の今後の利用意向

全体的に2割程度の人が「今後利用してみたい」と回答しています。

最も多かったのは、「⑤短期入所」(33.3%)で、以下「⑭相談支援」(30.8%)、「⑦療養介護」(25.5%)の順となっています。

なお、全体的に半数程度が「無回答」となっています。

【総数】「利用していない」と回答した人

	総数	今後利用してみたい	今後利用しない	無回答
①居宅介護	41	24.4	29.3	46.3
②重度訪問介護	50	22.0	28.0	50.0
③同行援護	51	21.6	25.5	52.9
④行動援護	46	23.9	26.1	50.0
⑤短期入所	51	33.3	17.6	49.0
⑥重度障がい者等包括支援	50	22.0	24.0	54.0
⑦療養介護	51	25.5	27.5	47.1
⑧生活介護	46	21.7	23.9	54.3
⑨施設入所支援	50	24.0	28.0	48.0
⑩自立訓練	43	20.9	30.2	48.8
⑪就労移行支援	49	12.2	36.7	51.0
⑫就労継続支援	38	10.5	36.8	52.6
⑬共同生活援助	48	18.8	27.1	54.2
⑭相談支援	39	30.8	23.1	46.2

④「今後利用してみたい人」(属性別分析)

男女共に「⑤短期入所」(男性32.1%、女性35.0%)が最も高くなっています。また「女性」は「⑭相談支援」も3割を超えています。

「⑤短期入所」は各年代で利用意向が高く、特に「30代以下」と「70代以上」で高くなっています。ほか、「40代」は「④行動援護」、「50代」は「⑪就労移行支援」、「60代」は「⑭相談支援」が最も高い状況です。

		①居宅介護	②重度訪問介護	③同行援護	④行動援護	⑤短期入所	⑥重度障がい者等包括支援	⑦療養介護
全 体		24.4	22.0	21.6	23.9	33.3	22.0	25.5
性 別	男性	30.4	31.0	16.7	25.0	32.1	23.1	20.0
	女性	6.3	10.5	25.0	20.0	35.0	22.7	26.1
年 代	30代以下	33.3	42.9	-	28.6	50.0	14.3	-
	40代	-	-	28.6	33.3	20.0	16.7	20.0
	50代	16.7	14.3	11.1	14.3	12.5	22.2	25.0
	60代	37.5	44.4	42.9	37.5	37.5	37.5	37.5
	70代以上	14.3	7.1	15.4	-	30.8	16.7	21.4

		⑧生活介護	⑨施設入所支援	⑩自立訓練	⑪就労移行支援	⑫就労継続支援	⑬共同生活援助	⑭相談支援
全 体		21.7	24.0	20.9	12.2	10.5	18.8	30.8
性 別	男性	25.0	23.1	16.7	12.5	11.1	20.8	26.3
	女性	20.0	27.3	23.5	9.1	5.9	9.5	33.3
年 代	30代以下	14.3	33.3	-	11.1	33.3	12.5	28.6
	40代	16.7	16.7	-	-	-	16.7	-
	50代	14.3	25.0	33.3	37.5	16.7	14.3	33.3
	60代	42.9	42.9	37.5	14.3	16.7	42.9	50.0
	70代以上	18.2	15.4	15.4	-	-	8.3	22.2

⑤「利用してるが満足していない理由」「今後も利用しない理由」

①居宅介護（ホームヘルプ）	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ その時にならないとわからない ・ 今の所自分でできる ・ 今の所必要無い ・ 動けている ・ 面倒だから
②重度訪問介護	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の所自分でできる ・ その時にならないとわからない ・ 必要としない ・ モラルわきまえている
③同行援護	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障がいはない ・ その時にならないとわからない ・ 視力弱いが見えている
④行動援護	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ その時にならないとわからない ・ 身勝手ではない
⑤短期入所（ショートステイ）	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎があれば良いのに入所記録がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その時にならないとわからない ・ ルールわきまえている
⑥重度障がい者等包括支援	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 意思疎通が図れない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の所必要なし ・ その時にならないとわからない ・ 老後考える
⑦療養介護	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良くなる可能性がないから ・ その時にならないとわからない ・ 寝たきりにならないように気をつける

⑧生活介護	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ その時にならないとわからない ・ 動けている
⑨施設入所支援	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でできる ・ 足のケガはほとんど完治 ・ その時にならないとわからない ・ 動けている
⑩自立訓練（機能訓練・生活訓練）	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工賃が安すぎて働く気にならないから 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分でできるだけ自分でやる ・ その時にならないとわからない ・ リハビリする所がない
⑪就労移行支援	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は短時間働いているから ・ 高齢 ・ 働いていない ・ 一般の所は私には向いていないから
⑫就労継続支援（A型・B型）	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ サービスが不満 ・ 思うような仕事がない ・ 工賃が安すぎて働く気にならないから ・ 人間関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は短時間働いているから ・ 高齢
⑬共同生活援助（グループホーム）	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
(なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は必要無いから ・ 自宅ある
⑭相談支援	
利用してるが満足していない理由	今後も利用しない理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関わりがあまりない ・ 意思相違 ・ 困った時に相談を出来ない事があるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は必要無いから ・ 事業所で利用している


(9) 充実してほしいサービス

①充実してほしいサービス（属性別分析）

「無回答」が8割おり回答したのは2割程度ですが、最も多かったのは「施設への通所・入所に関すること」(6.9%)でした。以下、「外出などの移動支援に関すること」(5.2%)、「相談支援に関すること」(3.9%)も多く挙げられています。

「施設への通所・入所に関すること」は「女性」に多くみられ、「男性」は「外出などの移動支援に関すること」が多くなっています。

ほか、年代・保有手帳・介助の必要性ごとの結果は下表の通りです。概ね「50代」、「療育手帳保有者」、「精神保健福祉手帳保有者」で「無回答」率が低く、逆に要望が多いことがわかります。



	総数	① 相談支援に関すること	② 就労支援に関すること	③ 施設への通所・入所に関すること	④ 外出などの移動支援に関すること	⑤ 在宅サービスや医療ケアに関すること	⑥ 生活訓練に関すること	⑦ 障がい者に適した住居の確保に関すること	⑧ その他	無回答	
全体	231	3.9	2.6	6.9	5.2	1.3	0.9	2.6	3.5	81.8	
性別	男性	113	5.3	3.5	4.4	6.2	1.8	-	3.5	1.8	81.4
	女性	110	2.7	1.8	9.1	4.5	0.9	1.8	1.8	5.5	81.8
年代	30代以下	38	7.9	2.6	5.3	5.3	-	-	2.6	-	84.2
	40代	22	4.5	-	4.5	4.5	-	-	9.1	4.5	86.4
	50代	34	2.9	8.8	8.8	2.9	-	2.9	2.9	8.8	73.5
	60代	42	2.4	4.8	7.1	2.4	4.8	-	4.8	2.4	83.3
	70代以上	57	3.5	-	8.8	12.3	1.8	-	-	3.5	77.2
身体障害者手帳保有	136	1.5	2.2	5.1	4.4	2.2	1.5	1.5	2.2	86.0	
非保有	20	-	5.0	15.0	10.0	-	-	5.0	-	75.0	
療育手帳保有	41	7.3	-	7.3	9.8	-	-	2.4	2.4	75.6	
非保有	90	2.2	4.4	12.2	5.6	3.3	1.1	2.2	6.7	75.6	
精神保健福祉手帳保有	54	7.4	5.6	9.3	3.7	-	-	5.6	5.6	75.9	
非保有	71	1.4	2.8	12.7	7.0	2.8	1.4	4.2	5.6	76.1	
介助必要	115	6.1	0.9	10.4	8.7	0.9	0.9	4.3	2.6	75.7	
介助不要	107	1.9	4.7	3.7	0.9	1.9	0.9	0.9	3.7	88.8	

②充実してほしいサービスの「具体的内容」

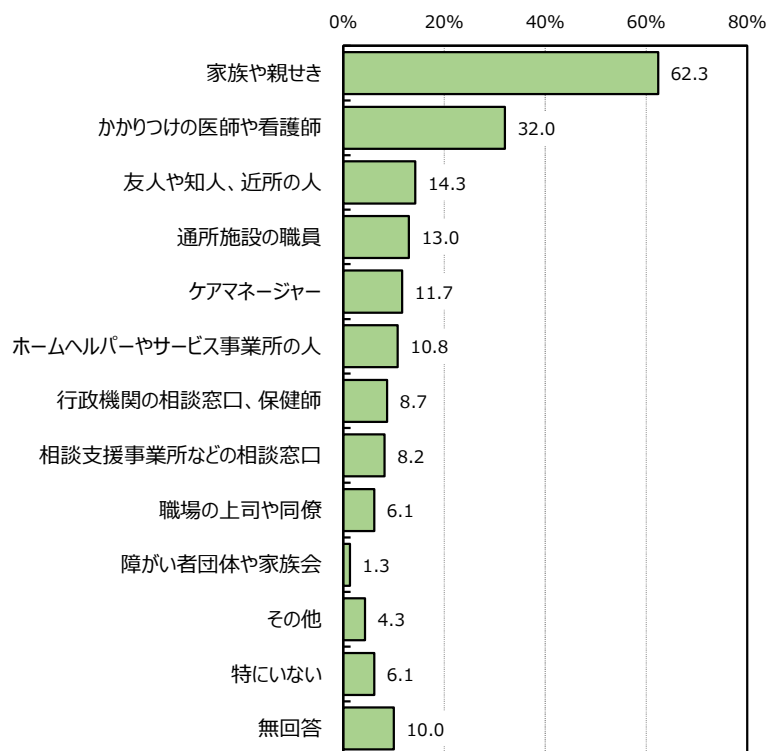
<p>①相談支援に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人会などに来て話をしたり、行動をしたりして欲しい ・ 常に情報提供をして欲しい ・ 電話で相談も大丈夫ですか ・ 定期的に相談に乗って欲しい ・ 夫が先に死んだときに相談先を明確に ・ 支援員を増やして欲しい
<p>②就労支援に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業においてコロナの影響で身障者から首切りしている話をよく聞くのでとても不安である。 ・ もっと積極的に関わって欲しい ・ 企業に適応できるか近づきたい
<p>③施設への通所・入所に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三春町内に障がい者用のグループホームや施設がない ・ 歩けなくなった時 ・ 施設に入るのにすぐ入れない。待ち日数がありすぎて。 ・ 空き情報を一元的に知りたい。一軒一軒まわるのは負担。 ・ 現介護者が介護不能に備えて ・ 家に居ては本人の成長がない為 ・ 交通費を出して欲しい ・ 安心、安全に通いたい
<p>④外出などの移動支援に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人で外出できない時があるため ・ 家族ではなくて外出、お出かけができればいい。 ・ 長年利用したいと思っているが、町の体制がない。 ・ 1人で移動できないので必要な時すぐに利用できるタクシーの様な利用の仕方ができると良い。 ・ 病院に通う時に必要 ・ 現介護者が介護不能に備えて ・ 専用トイレの設置 ・ 福祉車の増加
<p>⑤在宅サービスや医療ケアに関すること</p> <p>(なし)</p>
<p>⑥生活訓練に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問リハビリ ・ 寝たきりにならないよう自分みがき
<p>⑦障がい者に適した住居の確保に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の障がいが進んでいるので家族に迷惑をかけたくないので家を出たい為。 ・ 一度家のリフォームをすると上限があり越えてできず大きくなる度したくてもできないのが現状です。 ・ 今の家にあとどのくらいいられるのか ・ 地元にもっとできて欲しい
<p>⑧その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その都度ご相談お世話に。よろしくお願ひいたします。 ・ 福祉の指導員の方がそれぞれの老人会で話して欲しい ・ 1人で作品を作っているので皆で集まって教えてもらいながら創作してみたい。 ・ 面倒を見ている家族が先に亡くなった場合、残された本人の生活についてどのような方法があるのか実例など知る機会が欲しい。 ・ 新型コロナウイルスに限らず面会制限時の代替策 ・ 他の人の話が聴き取れなくて困る事が度々ある

6. 相談相手や情報収集について

(1) 困ったときの悩み等の相談相手

「家族や親せき」が62.3%で最も多く、以下、「かかりつけの医師や看護師」が32.0%、「友人や知人、近所の人」が14.3%、「通所施設の職員」が13.0%、「ケアマネージャー」が11.7%などと続いています。また6.1%の人が「特にいない」と回答しています。

【総数=231】



*「その他」：入所施設の職員、インターネット、補佐人

(2) 困ったときの悩み等の相談相手（属性別分析）

概ね性別による差はみられませんが、「男性」は「職場の上司や同僚」と「特にない」が、「女性」は「相談支援事業所などの相談窓口」がやや高くなっています。

年代別では「家族や親せき」を挙げる人が「40代」以下で多くみられます。また、「50代」以上から「特にない」と回答する人が出ています。

		家族や親せき	友人や知人、近所の人	職場の上司や同僚	ホームヘルパーやサービス事業所の人	ケアマネジャー	かかりつけの医師や看護師	通所施設の職員
全 体		62.3	14.3	6.1	10.8	11.7	32.0	13.0
性別	男性	66.4	14.2	8.0	10.6	10.6	31.9	12.4
	女性	59.1	15.5	4.5	10.9	12.7	32.7	14.5
年代	30代以下	76.3	13.2	13.2	13.2	2.6	23.7	26.3
	40代	77.3	18.2	22.7	9.1	4.5	40.9	22.7
	50代	61.8	14.7	2.9	8.8	8.8	38.2	14.7
	60代	61.9	14.3	4.8	9.5	14.3	31.0	9.5
	70代以上	54.4	14.0	1.8	10.5	15.8	29.8	7.0

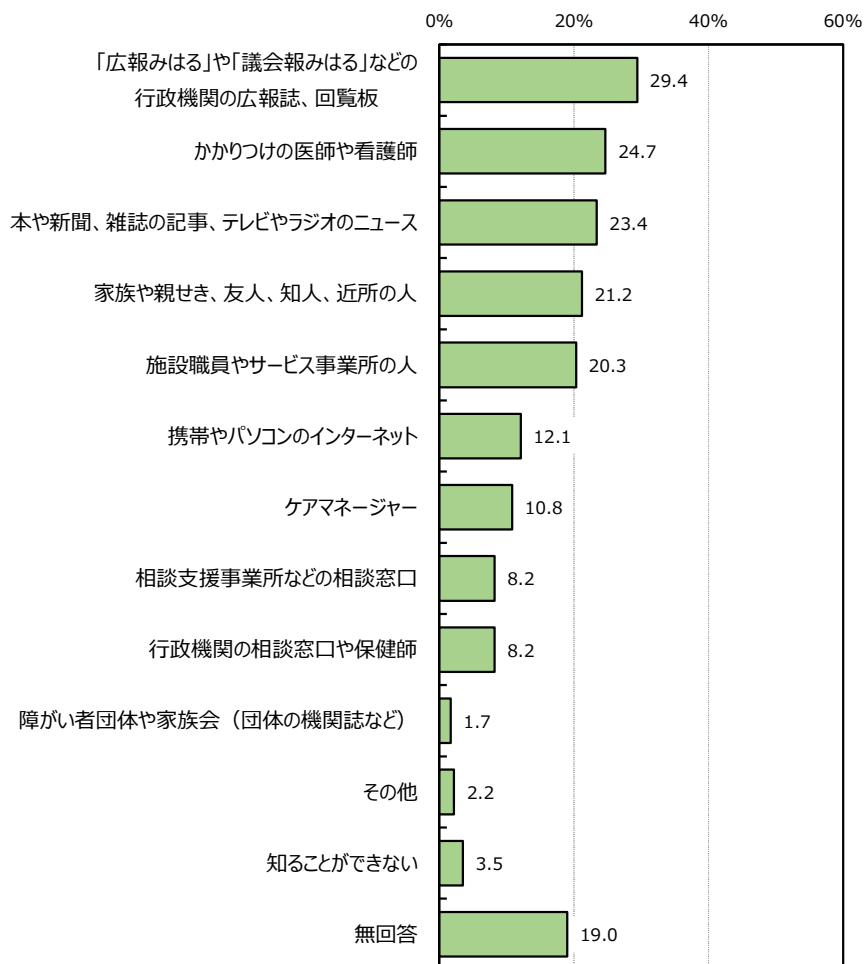
		障がい者団体や家族会	相談支援事業所などの相談窓口	行政機関の相談窓口、保健師	その他	特にない	無回答
全 体		1.3	8.2	8.7	4.3	6.1	10.0
性別	男性	0.9	7.1	8.0	3.5	8.0	5.3
	女性	0.9	10.0	9.1	5.5	4.5	13.6
年代	30代以下	2.6	18.4	7.9	-	-	7.9
	40代	4.5	9.1	9.1	4.5	-	9.1
	50代	-	8.8	5.9	8.8	5.9	5.9
	60代	-	7.1	9.5	-	11.9	9.5
	70代以上	-	5.3	8.8	8.8	8.8	12.3

(3) 障がいのことや福祉サービス等に関する情報の入手先

「広報みはる」や「議会報みはる」などの行政機関の広報誌、回覧板」が29.4%で最も多く、以下、「かかりつけの医師や看護師」が24.7%、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が23.4%、「家族や親せき、友人、知人、近所の人」が21.2%、「施設職員やサービス事業所の人」が20.3%などと続いています。

また、「知ることができない」と回答した人が3.5%いました。

【総数=231】



*「その他」：点字図書館より送られてくる点字広報ふくしま（CD）

(4) 障がいのことや福祉サービス等に関する情報の入手先（属性別分析）

「男性」は「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」と「家族や親せき、友人、知人、近所の人」、「女性」は「行政機関の広報誌、回覧板」が高い割合となっています。

年代別でみると入手先に違いがみられ、特に「30代以下」では、「家族や親せき、友人、知人、近所の人」や「施設職員やサービス事業所の人」等、対人の入手先を挙げる人が多く、さらに「知ることができない」も7.9%と他の年代に比べ高い割合となっています。

		本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	「広報みはる」や「議会報みはる」などの行政機関の広報誌、回覧板	携帯やパソコンのインターネット	家族や親せき、友人、知人、近所の人	施設職員やサービス事業所の人	ケアマネジャー	障がい者団体や家族会（団体の機関誌など）
全体		23.4	29.4	12.1	21.2	20.3	10.8	1.7
性別	男性	27.4	28.3	11.5	24.8	20.4	10.6	1.8
	女性	20.0	30.0	13.6	18.2	20.9	10.9	0.9
年代	30代以下	10.5	15.8	13.2	31.6	31.6	-	-
	40代	22.7	22.7	27.3	22.7	22.7	4.5	9.1
	50代	20.6	38.2	14.7	17.6	26.5	5.9	2.9
	60代	23.8	35.7	19.0	16.7	7.1	14.3	-
	70代以上	35.1	31.6	5.3	19.3	21.1	14.0	-

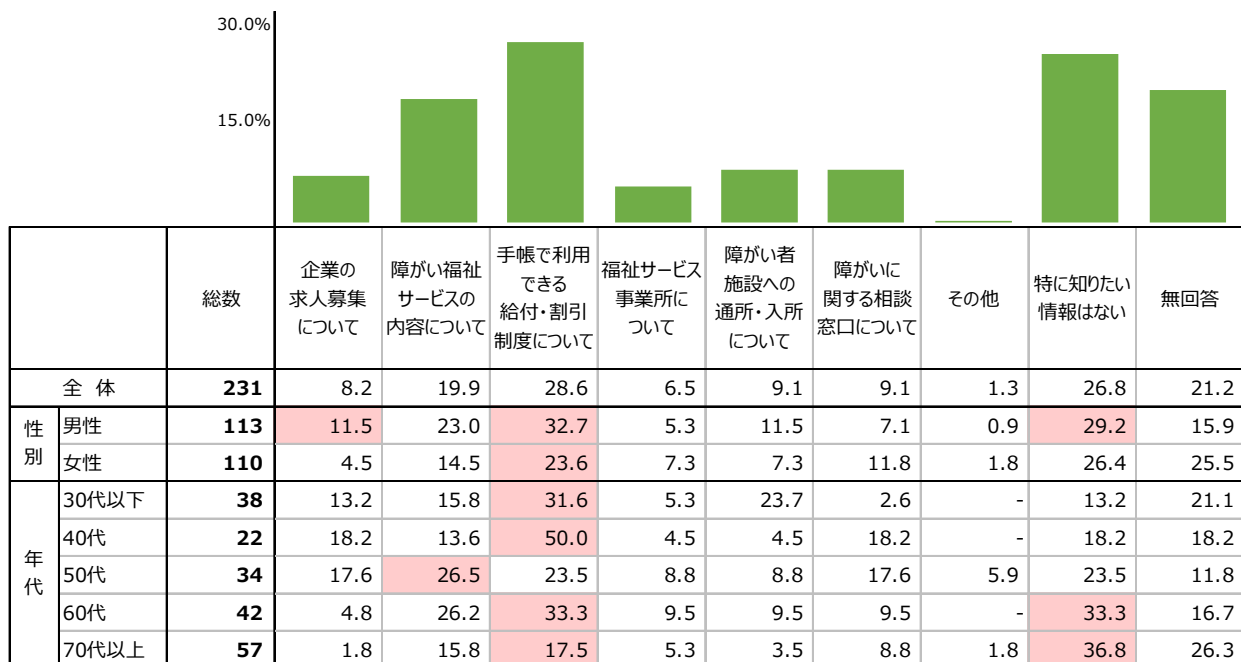
		かかりつけの医師や看護師	相談支援事業所などの相談窓口	行政機関の相談窓口や保健師	その他	知ることができない	無回答
全体		24.7	8.2	8.2	2.2	3.5	19.0
性別	男性	23.9	8.0	9.7	2.7	3.5	14.2
	女性	26.4	9.1	6.4	1.8	3.6	22.7
年代	30代以下	5.3	23.7	10.5	2.6	7.9	13.2
	40代	31.8	9.1	4.5	-	-	22.7
	50代	26.5	8.8	5.9	2.9	5.9	11.8
	60代	38.1	7.1	9.5	2.4	4.8	11.9
	70代以上	22.8	3.5	7.0	3.5	1.8	21.1

(5) 今知りたい情報

「手帳で利用できる給付・割引制度について」が28.6%で最も多く、次いで、「障がい福祉サービスの内容について」が19.9%、「障がい者施設への通所・入所について」と「障がいに関する相談窓口について」が9.1%と同率で続いています。

性別でみると「男性」では「企業の求人募集について」も高い割合となっています。

一方、「特に知りたい情報はない」は26.8%で、「男性」や「60代」以上で多くなっています。



*「その他」：企業・職労者方々の理解率、二重に見える虫のようなものが見えること

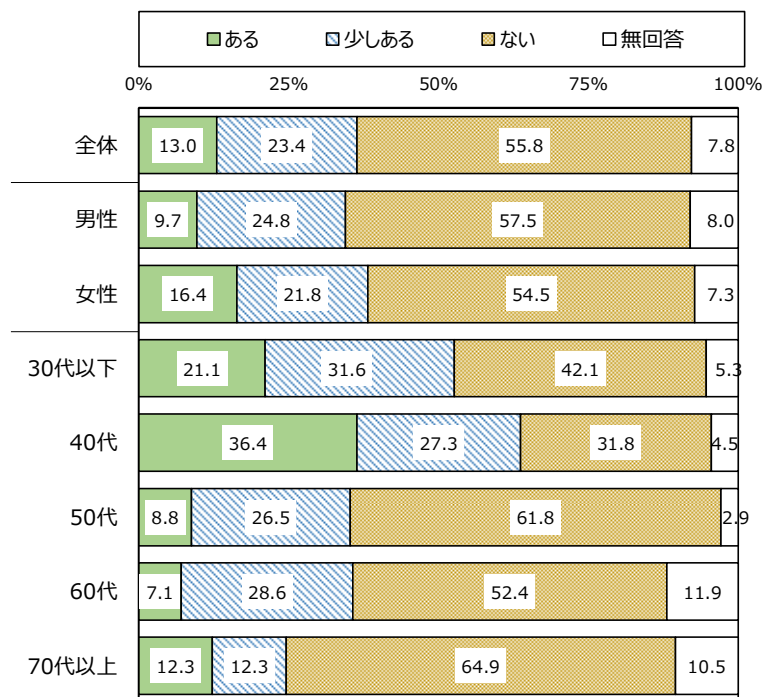
7. 障がい者の権利擁護について

(1) 障がいがあることで、差別や嫌な思いをすることの有無

「ある」(13.0%)と「少しある」(23.4%)を合わせ36.4%の人が、差別や嫌な思いをした経験が『ある』と答えています。

『ある』という人は「女性」に多く、また、年代別では「40代」以下で半数を超えています。

【総数=231】



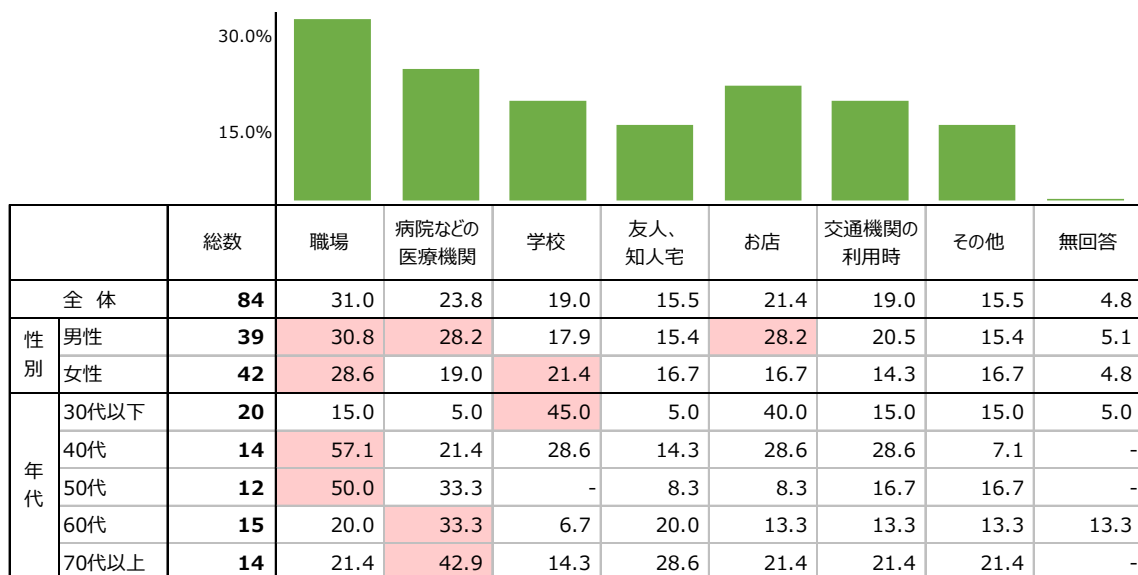
(2) 差別や嫌な思いをした場所や場面

「職場」が31.0%で最も多く、以下、「病院などの医療機関」が23.8%、「お店」が21.4%、「学校」が19.0%、「交通機関の利用時」が19.0%などと続いています。

「職場」は男女共に最も多く、次いで「男性」は「病院などの医療機関」「お店」、「女性」は「学校」が多くなっています。

年代別で見ると、年齢が上がるに連れ「学校」→「職場」→「病院などの医療機関」で高い割合となっています。

【総数】「ある」「少しある」と回答した人



*「その他」:

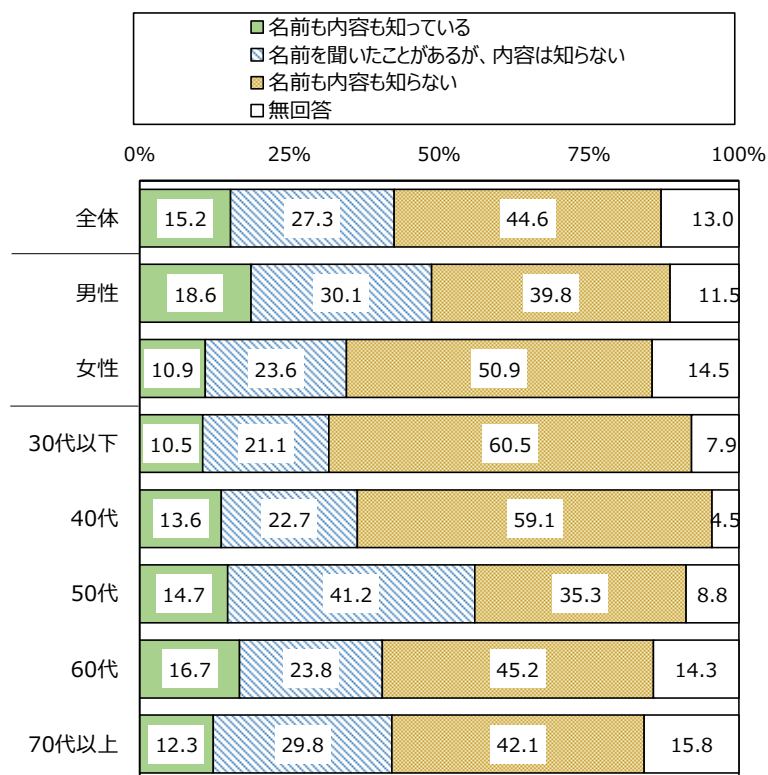
- ・カルチャーパーク
- ・挨拶などで
- ・何年も前に地域の民生委員の言葉に
- ・外出時
- ・葬儀場とか人が集まる所で会食や酒で酔っ払いが大嫌い。今はコロナだからない。
- ・地域
- ・道を歩いている時、変な目を見る。

(3) 成年後見制度の認知度

「名前も内容も知っている」は15.2%で、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」(27.3%)と「名前も内容も知らない」(44.6%)を合わせると、約7割の人が『知らない』と回答しています。

『知らない』という人は「女性」で多くみられ、年代別では「40代」以下で約8割を占めています。

【総数=231】



8. 災害時の避難等について

(1) 災害時に一人で避難できますか

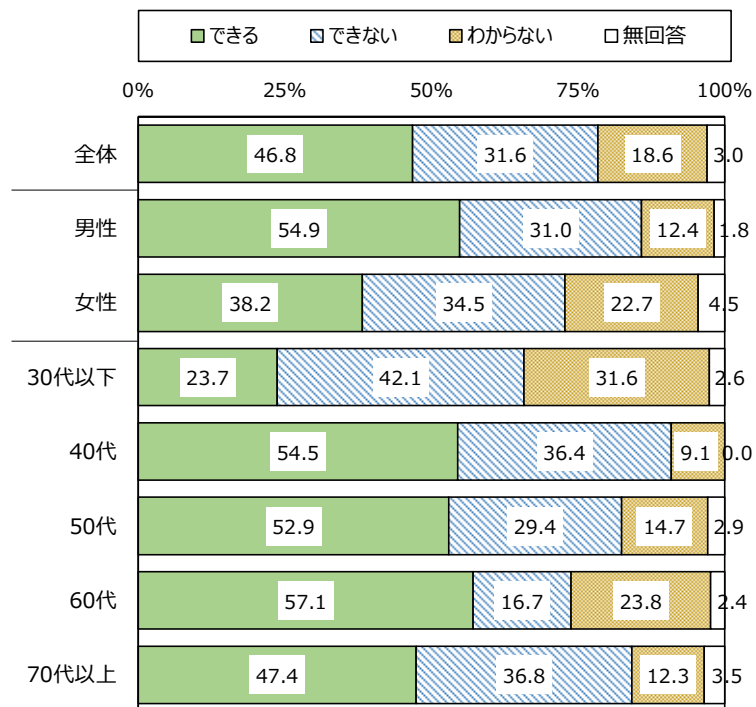
「できる」が46.8%、「できない」が31.6%、「わからない」が18.6%となっています。

半数以上の「男性」は「できる」と回答していますが、「女性」は「できる」と「できない」が約3割でほぼ同率となっています。

年代別でみると「30代以下」で「できない」割合が高く、「わからない」も3割いました。

また、「70代以上」の「できる」割合は47.4%と、「60代」より低くなっていますが、約半数は「できる」と回答しています。

【総数=231】



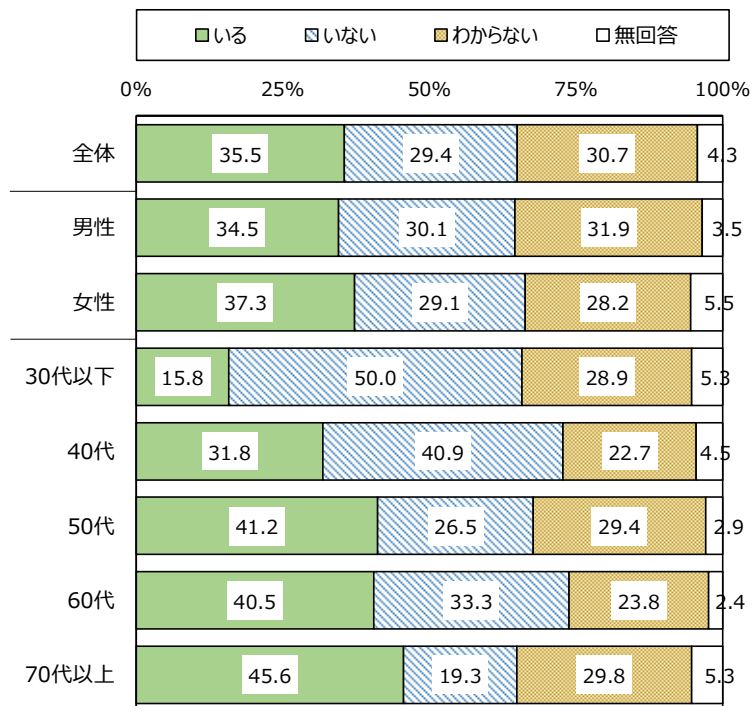
(2) 家族が不在又は一人暮らしになった場合、近所に助けてくれる人がいますか

「いる」が35.5%、「いない」が29.4%、「わからない」が30.7%で、回答は三者に分かれています。

年代別で見ると、「40代」以下で「いない」割合が高くなっていますが、「50代」以上から「いる」割合の方が増えています。

ただし、どの年代においても「わからない」と答える人が2割程いる状況です。

【総数=231】



(3) 災害時に困ること

「薬が足りなくなったり、治療が受けられなくなる」が53.7%で最も多く、「男性」「女性」共に高い割合となっています。

次いで、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が46.3%、「安全なところまで、急いで避難することができない」が42.9%、「周囲とコミュニケーションがとれない」が28.6%、「救助を求めることができない」が20.8%などと続いています。

年代別でみると、「40代」以下は周囲とのコミュニケーションについて、「50代」～「60代」は医療面、「70代以上」は避難・移動に関する割合が高くなっています。

	薬が足りなくなったり、治療が受けられなくなる	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、急いで避難することができない	被害状況、避難場所などの情報を知ることができない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	
全体	53.7	10.8	11.7	20.8	42.9	19.0	28.6	46.3	
性別	男性	50.4	10.6	9.7	22.1	38.9	11.5	24.8	39.8
	女性	55.5	11.8	13.6	20.0	47.3	24.5	30.0	51.8
年代	30代以下	34.2	2.6	7.9	44.7	47.4	23.7	57.9	50.0
	40代	59.1	9.1	9.1	22.7	36.4	31.8	63.6	40.9
	50代	61.8	8.8	11.8	11.8	26.5	14.7	17.6	44.1
	60代	71.4	19.0	11.9	14.3	38.1	11.9	19.0	50.0
	70代以上	47.4	7.0	12.3	19.3	56.1	22.8	15.8	36.8

	その他	特にない	無回答	
全体	1.7	13.4	6.1	
性別	男性	1.8	15.0	6.2
	女性	1.8	12.7	6.4
年代	30代以下	-	15.8	7.9
	40代	4.5	18.2	-
	50代	5.9	5.9	2.9
	60代	-	7.1	4.8
	70代以上	1.8	21.1	7.0

*「その他」:

- ・自分は運転できないので移動するとき困るかもしれない。
- ・人が沢山居るところと一緒に居る事ができない。

三春町障がい福祉サービスに関するアンケート調査結果

《障がい児編》

この調査は、第2期三春町障がい児福祉計画の策定にあたり、障がい福祉サービスの需要量及び供給量の推計の参考とするため実施しました。

実施時期	令和2年 8月～9月
調査集計	令和2年11月
対象者	18歳未満の障害者手帳を保有している者のうち、無作為抽出した95名を対象としています。
調査方法	個人への郵送によりアンケート形式
回収結果	<配布件数> 95件 <回収件数> 38件(54.3%) 内 有効回答数38件(54.3%) 無効回答数0件
調査結果	以下の通り ※表記注意点 ・ゼロは「-」で表記しています。

回答者

「本人」の回答が10.5%、「家族」の回答は86.8%となっています。
年齢別でみると、「本人」の回答は「10歳」以上の3人となっています。

	総数	本人	家族	家族以外の 介助者	無回答	
全体	38	10.5	86.8	-	2.6	
年齢	0～4歳	5	-	100.0	-	-
	5～9歳	18	-	100.0	-	-
	10～14歳	6	16.7	66.7	-	16.7
	15～19歳	7	28.6	71.4	-	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-

1. 世帯属性

(1) 性別

「男性」が26人（68.4%）、「女性」が12人（31.6%）で「男性」が多くなっています。

		総数	男性	女性
全 体		38	68.4	31.6
年 齢	0～4歳	5	80.0	20.0
	5～9歳	18	66.7	33.3
	10～14歳	6	50.0	50.0
	15～19歳	7	71.4	28.6

(2) 年齢

「5～9歳」が47.4%で最も多く、約半数を占めています。男女別でも同様の傾向です。

		総数	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	無回答
全 体		38	13.2	47.4	15.8	18.4	5.3
性 別	男性	26	15.4	46.2	11.5	19.2	7.7
	女性	12	8.3	50.0	25.0	16.7	-

(3) 居宅の種類

「一般住宅」が92.1%、「アパート」は5.3%、施設等はありませんでした。

		総数	一般住宅	アパート	障がい児 入所施設	病院	その他	無回答
全 体		38	92.1	5.3	-	-	2.6	-

*「その他」：団地

(4) 家族人数

「5人以上」が59.5%で半数以上を占めています。

【総数】居宅の種類「一般住宅」「アパート」と回答した人

		総数	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全 体		37	2.7	8.1	29.7	59.5	-

(5) 同居者

「父親」がいない世帯が2世帯、「母親」がいない世帯が1世帯ありました。

「その他」は4世帯で、「曾祖父」又は「曾祖母」となっています。

【総数】居宅の種類「一般住宅」「アパート」と回答した人

		総数	父親	母親	兄弟・姉妹	祖父	祖母	親の兄弟 (おじさん・ おばさん)	その他	無回答
全 体		37	94.6	97.3	75.7	37.8	54.1	8.1	10.8	-

*「その他」：曾祖父、曾祖母

(6) 居住地区

「岩江」が32.4%で最も多く、次いで「沢石」の16.2%となっています。

【総数】居宅の種類「一般住宅」「アパート」と回答した人

	総数	大町	中町	八幡町	荒町	北町	新町	八島台	沢石
全体	37	-	2.7	2.7	2.7	-	13.5	5.4	16.2

要田	御木沢	岩江	中妻	中郷	無回答
2.7	2.7	32.4	5.4	13.5	-

2. 障がいの状況について

(1) 身体障害者手帳の保有状況

半数が「持っていない」と回答しています。保有者では「1級」が2人、「2級」と「3級」が各1人です。

なお、「無回答」が39.5%と多い結果となりました。

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	持っていない	無回答
全体	38	5.3	2.6	2.6	-	-	-	50.0	39.5

(2) 身体障がいの内容（障がい別）

「肢体不自由（上肢機能障がい）」と「肢体不自由（下肢機能障がい）」が各2人、「聴覚障がい」と「体幹機能障がい」が各1人となっています。（複数回答）

【総数】身体障害者手帳1～6級と回答した人

	総数	視覚障がい	聴覚障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	肢体不自由（上肢機能障がい）	肢体不自由（下肢機能障がい）	体幹機能障がい	内部障がい（心臓・じん臓・小腸・肝臓・呼吸器）	無回答
全体	4	-	25.0	-	50.0	50.0	25.0	-	-

(3) 療育手帳の保有状況

半数が「持っていない」と回答しています。保有者では「A判定」が3人、「B判定」が8人で、「B判定」が多くなっています。

	総数	A	B	持っていない	無回答
全体	38	7.9	21.1	52.6	18.4

(4) 精神保健福祉手帳の保有状況

半数が「持っていない」と回答しており、保有者は「2級」の2人のみとなっています。ここでも「無回答」が42.1%で高い割合となっています。

	総数	1級	2級	3級	持っていない	無回答
全体	38	-	5.3	-	52.6	42.1

(5) 難病認定の状況

「認定を受けている」人は2人です。

	総数	受けている	受けていない	無回答
全 体	38	5.3	94.7	-

(6) 発達障がいとして診断されたことの有無

「診断されたことがある」人は32人です。

	総数	ある	ない	無回答
全 体	38	84.2	13.2	2.6

(7) 現在、受けている医療的ケア

「無回答」を「受けていない」とみると、「受けている」人は少なく、「吸引」「服薬管理」「その他（インスリン自己注射）」の各1人となっています。

	総数	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう又は 腸ろうによる 経管栄養	鼻腔経管 栄養	透析	中心静脈 栄養 (IVH)
全 体	38	-	-	-	2.6	-	-	-	-

カテーテル 留置	服薬管理	ストマ (人工肛門・ 人工膀胱)	その他	無回答
-	2.6	-	2.6	92.1

*「その他」：インスリン自己注射

3. 生活状況について

(1) 普段の生活について介助の必要性

「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答した人を『介助は必要』に集計しております。

『介助は必要』は89.5%で、「女性」で割合が高くなっています。

	総数	介助は必要	介助は不要	無回答
全体	38	89.5	7.9	2.6
性別				
男性	26	88.5	11.5	-
女性	12	91.7	-	8.3

(2) 介助が必要なもの

『介助が必要』なものは、多い順に「⑩薬の管理」(86.8%)、「⑨お金の管理」(78.9%)、「⑦外出」(47.4%)、「③入浴」(31.6%)となっています。

一方、「ひとりでできる」ものは、「⑥家の中の移動」(86.8%)が最も多く、次いで「①食事」と「④着替え」が同率(81.6%)で続いています。

	総計	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答	介助が必要計
①食事	38	81.6	5.3	5.3	7.9	10.5
②トイレ	38	65.8	21.1	5.3	7.9	26.3
③入浴	38	60.5	26.3	5.3	7.9	31.6
④着替え	38	81.6	5.3	5.3	7.9	10.5
⑤身だしなみ	38	65.8	21.1	7.9	5.3	28.9
⑥家の中の移動	38	86.8	2.6	2.6	7.9	5.3
⑦外出	38	44.7	31.6	15.8	7.9	47.4
⑧コミュニケーションや対話	38	55.3	31.6	7.9	5.3	39.5
⑨お金の管理	38	18.4	34.2	44.7	2.6	78.9
⑩薬の管理	38	7.9	39.5	47.4	5.3	86.8

(3) 主な介護者

「父親」が100%、「母親」が88.2%です。それ以外を挙げた人はいませんでした。

【総数】「一部介助が必要」「全部介助が必要」と回答した人

	総数	父親	母親	兄弟・姉妹	祖父	祖母	親の兄弟 (おじさん・おばさん)	ホームヘルパー	施設の職員
全体	34	100.0	88.2	-	-	-	-	-	-

その他	無回答
-	-

(4) 主な介護者の年代

ほとんどが「65歳未満」ですが、「65～74歳」が2人います。

【総数】「一部介助が必要」「全部介助が必要」と回答した人

	総数	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	無回答
全体	34	82.4	5.9	-	-	11.8

4. 日中活動について

(1) 日常の過ごし方

「一般の高校・小中学校に通っている」が47.4%で最も多く、以下、「幼稚園・保育園・認定こども園へ通っている」が34.2%、「特別支援学校(小・中・高等部)に通っている」が13.2%などと続いています。

	総数	一般の 高校・小中 学校に通っ ている	特別支援学 校(小・中・ 高等部)に 通っている	大学・専門 学校・職業 訓練校など へ通っている	幼稚園・保 育園・認定 こども園へ 通っている	障がい児 通所施設へ 通っている	入所している 施設や 病院で 過ごしている	自宅にいる	その他	無回答
全体	38	47.4	13.2	-	34.2	2.6	-	-	2.6	-

*「その他」：特別支援学級

(2) 外出(移動)する際、困ること

「無回答」(65.8%)を除くと約3割の人が何らかの困りごとを挙げています。

最も多かったのは「車、バス、電車などの乗り降り」が18.4%で、次いで、「バスや電車などの交通機関が、運行する本数が少ない」が15.8%、「道路や駅などに段差や階段が多い」と「自宅からバス停留所や駅までの距離が遠い」が共に10.5%で続いています。

	総数	車、バス、 電車などの 乗り降り	道路や駅な どに段差や 階段が多い	バスや電車 などの交通 機関が、運 行する本数 が少ない	自宅からバス 停留所や 駅までの 距離が遠い	一緒に外出 (移動) してくれる 介助者等が いない	お金がかかる	その他	無回答
全体	38	18.4	10.5	15.8	10.5	5.3	5.3	5.3	65.8

*「その他」：おむつ交換の場所が少ない、三春は買い物に行くお店が少ない

5. 福祉サービスの利用について

(1) 障害者手帳は役に立っていますか

「障害者手帳」を保有している17人のうち、手帳が「役に立っている」と回答（役に立っているサービスを選択）したのは88.2%、「役に立っていない」と回答したのは23.5%となっています。なお、設問は複数回答のため、双方回答した人（17.6%）が含まれています。

	総数	役に立っている	役に立っていない	無回答
障害者手帳保有	17	88.2	23.5	5.9
非保有	16			
無回答	5			

(2) 役に立っているサービス

「障がい年金・各種手当の受給」が64.7%で最も多く、以下、「各種料金の減免を受ける」が58.8%、「障がい福祉サービスの利用」が35.3%の順となっています。

また、「各種料金の減免」では「各種施設の入館料割引」が70.0%で最も多くなっています。

【総数】「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神保健福祉手帳」を保有していると回答した人

	総数	医療費の補助	道具や材料の購入費、透析の通院費の補助	障がい年金・各種手当の受給	各種料金の減免	障がい福祉サービスの利用	その他	役に立っていない	無回答
全体	17	5.9	5.9	64.7	58.8	35.3	5.9	23.5	5.9

*「その他」：補装具の減額



【総数】「各種料金の減免を受ける」と回答した人

	総数	公共交通機関の運賃減免	自動車税の減免	各種施設の入館料割引	有料道路通行料金の減免	携帯電話基本使用料の割引	NHK放送受信料の減免	その他	無回答
全体	10	40.0	50.0	70.0	50.0	-	-	-	10.0

(3) 役に立っていないと感じる理由

「役に立っていない」と回答した4人に理由を尋ねると、全員が「どんなサービスがあるのかわからない」と回答しています。

【総数】「役に立っていない」と回答した人

	総数	今あるサービスの中に、必要なものがない	どんなサービスがあるのかわからない	その他	無回答
全体	4	-	100.0	-	-

(4) 障がい児福祉サービスの利用状況

①各サービスの利用状況

「無回答」が多く留意すべき項目となっています。

現在、利用しているサービスとしては、「①児童発達支援」(44.7%)が最も多く、次いで「③放課後等デイサービス」(36.8%)、「⑤相談支援」(28.9%)の順となっています。

【総数】38

	利用している	利用していない	無回答	利用している人(人)
①児童発達支援	44.7	34.2	21.1	17
②医療型児童発達支援	10.5	42.1	47.4	4
③放課後等デイサービス	36.8	31.6	31.6	14
④保育所等訪問支援	2.6	47.4	50.0	1
⑤相談支援	28.9	31.6	39.5	11

②「利用している人」の満足度

利用者のほとんどが「満足している」と回答しています。

「満足していない」は「④保育所等訪問支援」の1人で、下記理由を挙げています。

【総数】「利用している」と回答した人

	総数	満足している	満足していない	無回答
①児童発達支援	17	100.0	-	-
②医療型児童発達支援	4	100.0	-	-
③放課後等デイサービス	14	100.0	-	-
④保育所等訪問支援	1	-	100.0	-
⑤相談支援	11	90.9	-	9.1

*「満足していない」理由：

④保育所等訪問支援：一般的な一時的な様子だけで判断されてしまうのは困る

③「利用していない人」の今後の利用意向

「今後利用してみたい」サービスでは、「⑤相談支援」(50.0%)、「③放課後等デイサービス」(41.7%)が高い割合となっています。

また、「今後も利用しない」では3サービスで下記理由を挙げています。

ここでも、「無回答」が多い点にご留意ください。

【総数】「利用していない」と回答した人

	総数	今後利用してみたい	今後も利用しない	無回答
①児童発達支援	13	7.7	46.2	46.2
②医療型児童発達支援	16	12.5	43.8	43.8
③放課後等デイサービス	12	41.7	25.0	33.3
④保育所等訪問支援	18	22.2	27.8	50.0
⑤相談支援	12	50.0	16.7	33.3

*「今後も利用しない」理由：

- ①児童発達支援：必要性を感じない
- ②医療型児童発達支援：必要性を感じない
- ③放課後等デイサービス：近所に施設が無い

(5) 充実してほしいサービス

「無回答」は44.7%で、約半数の人が何らかの要望を挙げています。最も多かったのは「進学に関すること」で34.2%、次いで「学校や保育園などへの訪問指導」が15.8%、「相談支援に関すること」が13.2%となっています。

なお、具体的な内容は下記の通りです。

	総数	① 相談支援に関すること	② 施設への通所・入所に関すること	③ 学校や保育園などへの訪問指導	④ 外出などの移動支援に関すること	⑤ 在宅サービスや医療ケアに関すること	⑥ 生活訓練に関すること	⑦ 進学に関すること	⑧ その他	無回答
全体	38	13.2	5.3	15.8	7.9	-	7.9	34.2	7.9	44.7

* (具体的に) :

③学校や保育園などへの訪問指導

- ・療育と保育所で出来ている事と出来ていない事を共有し、子供のフォローもしてほしい。
- ・学校と療育施設双方の先生方が共有しながら療育を受けられる指導
- ・先生達が子供の発達を指摘するばかりで子供への関わりを分かっている

④外出などの移動支援に関すること

- ・デイサービスへの送迎

⑦進学に関すること

- ・個別教育の充実
- ・障がいがある子供用の進学までの流れが分かる資料等があれば、進学までスムーズにいけると思う。
- ・小学校での学問について
- ・手すりやスロープの設備
- ・進学時のアドバイスやどのような選択が出来るのか教えてもらいたい

⑧その他

- ・放課後等デイサービスの数をもっと増やしてほしい
- ・高校生になったらどの放課後デイサービスを利用出来るか分からない
- ・高校卒業後利用出来る施設（就労B）の一覧

6. 相談相手や情報収集について

(1) 困ったときの悩み等の相談相手

「家族や親せき」と「通所施設の職員」が共に63.2%で最も多く、次いで「学校や学校の先生」が42.1%で、上位3位となっています。以下、「かかりつけの医師や看護師」が31.6%、「友人や知人、近所の人」が26.3%などと続いています。

「特にいない」と回答した人は無く、誰かしら相談相手がいることが分かります。

【総数】38

	家族や親せき	友人や知人、近所の人	職場の上司や同僚	ホームヘルパーやサービス事業所の人	相談支援員	かかりつけの医師や看護師	通所施設の職員	障がい者団体や家族会
全体	63.2	26.3	5.3	10.5	18.4	31.6	63.2	-

相談支援事業所などの相談窓口	行政機関の相談窓口、保健師	学校や学校の先生	その他	特にいない	無回答
2.6	10.5	42.1	5.3	-	-

*「その他」：病院の心理士、保健士

(2) 障がいのことや福祉サービス等に関する情報の入手先

「施設職員やサービス事業所の人」が50.0%で最も多く、次いで「学校や学校の先生」と「携帯やパソコンのインターネット」が共に31.6%で続いています。

なお、「知ることができない」と回答した人が1人いました。

【総数】38

	本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	「広報みはる」や「議会報みはる」などの行政機関の広報誌、回覧板	携帯やパソコンのインターネット	家族や親せき、友人、知人、近所の人	施設職員やサービス事業所の人	学校や学校の先生	障がい者の団体や家族会（団体の機関誌など）	かかりつけの医師や看護師
全体	13.2	18.4	31.6	21.1	50.0	34.2	-	31.6

相談支援事業所などの相談窓口	行政機関の相談窓口や保健師	その他	知ることができない	無回答
2.6	26.3	2.6	2.6	2.6

*「その他」：三春町のホームページ

(3) 今知りたい情報

「将来の進路について」が60.5%で最も多く、以下、「手帳で利用できる給付・割引制度について」が42.1%、「障がい福祉サービスの内容について」が23.7%などと続いています。

一方、「特に知りたい情報はない」と回答する人が4人いました。

【総数】38

	障がい福祉サービスの内容について	手帳で利用できる給付・割引制度について	福祉サービス事業所について	将来の進路について	障がい者施設への通所・入所について	障がいに関する相談窓口について	その他	特に知りたい情報はない	無回答
全体	23.7	42.1	7.9	60.5	7.9	7.9	5.3	10.5	7.9

*「その他」：

- ・将来のお金のこと
- ・療育手帳の申請で「Drの指示があるなら作ります」とだけ言われた。具体的にどのような人が利用出来、手帳を持つことが出来るのか知りたい。

7. 障がい者の権利擁護について

(1) 障がいがあることで、差別や嫌な思いをすることの有無

「ある」(18.4%)と「少しある」(28.9%)を合わせ47.3%の人が、差別や嫌な思いをした経験が『ある』と答えています。

	総数	ある	少しある	ない	無回答
全体	38	18.4	28.9	52.6	-

(2) 差別や嫌な思いをした場所や場面

『ある』と回答した18人に、その場所や場面を尋ねると、最も多いのは「幼稚園・保育所・学校」で61.1%、次いで、「遊び場」と「お店」が共に27.8%となっています。

【総数】「ある」「少しある」と回答した人

	総数	病院などの医療機関	遊び場	幼稚園・保育所・学校	友人、知人宅	お店	交通機関の利用時	その他	無回答
全体	18	16.7	27.8	61.1	11.1	27.8	5.6	11.1	-

*「その他」:

- ・町の健診
- ・パニックによる言動で周囲に嫌な気持ちにさせていると思い、自分自身も良い気はしない。

(3) 成年後見制度の認知度

「名前も内容も知っている」は21.1%で、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」(34.2%)と「名前も内容も知らない」(42.1%)を合わせると、約7割強の人が『知らない』と回答しています。

	総数	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	名前も内容も知らない	無回答
全体	38	21.1	34.2	42.1	2.6

8. 災害時の避難等について

(1) 災害時に一人で避難できますか

「できない」が63.2%、「わからない」が18.4%となっています。

	総数	できる	できない	わからない	無回答
全体	38	15.8	63.2	18.4	2.6

(2) 家族が不在又は一人暮らしになった場合、近所に助けてくれる人がいますか

「いる」が34.2%、「いない」が15.8%となっています。
また、約半数の人が「わからない」(47.4%)と回答しています。

	総数	いる	いない	わからない	無回答
全体	38	34.2	15.8	47.4	2.6

(3) 災害時に困ること

「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が44.7%で最も多く、以下、「周囲とコミュニケーションがとれない」が31.6%、「安全なところまで、急いで避難することができない」が28.9%などと続いています。「その他」は4人おり、内容は下記の通りです。

【総数】38

	薬が足りなくなったり、治療が受けられなくなる	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、急いで避難することができない	被害状況、避難場所などの情報を知ることができない	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安
全体	15.8	-	5.3	21.1	28.9	21.1	31.6	44.7

その他	特になし	無回答
10.5	21.1	5.3

*「その他」:

- ・パニックになり一人で行動できるか不安
- ・岩江センターに全員入れるのか？場所が狭いので考えてほしい。
- ・食事が困難（通常食が食べられないため）
- ・食事とインスリンの自己注・低血糖時の対応など